

令和 4 年度
第 2 回 行田市総合教育会議

学力向上の取組について

令和 4 年 1 1 月 1 5 日 (火)
教育部教育指導課

本日の説明内容

1 学力テストの結果について

2 これまでの取組と成果について

- (1) 学力向上支援教員（複数指導教員）の配置
- (2) 外国語指導助手（ALT）の配置
- (3) 英語検定補助事業の推進
- (4) ICTの活用による学びの支援
- (5) 図書活動推進教員の配置
- (6) 「うきしろスタンダード」の活用による確かな指導の確立
- (7) 授業力向上研修の充実
- (8) 「家庭学習のすすめ」の活用

3 県学調の分析結果から見える学力の課題

- (1) 教科の正答率より
- (2) 学力の伸びについて
- (3) 児童生徒質問紙調査より

4 今後、取り組むべきこと

- (1) 授業改善
- (2) 学びの支援
- (3) 家庭との連携

1 学力テストの結果について①

全国学力・学習状況調査の伸び (R3とR4の比較)								
	小6		中3		小6		中3	
	H30		R3		H31(R1)		R4	
	国語		国語		国語		国語	
行田市	62		63		63		67	
全国	62.7		64.6		63.8		69	
差	-0.7	-0.9	-1.6		-0.8	-1.2	-2.0	
	算数		数学		算数		数学	
行田市	54		55		62		49	
全国	57.5		57.2		66.6		51.4	
差	-3.5	1.3	-2.2		-4.6	2.2	-2.4	
総合差		0.4				1.0		

※ R3よりR4の方が、全国との差の縮まり方が大きい→学力は伸びている

1 学力テストの結果について③

埼玉県学力・学習状況調査の伸び (R3 → R4)										
		R3		R4			R3		R4	
		小4		小5			小4		小5	
行田市	国語	56.1	→	54.2	行田市	算数	68.1	→	62	
埼玉県		58		56.2	埼玉県		69.9		63	
差		-1.9	-0.1	-2	差		-1.8	0.8	-1	
		小5		小6			小5		小6	
行田市	国語	54.4	→	62.2	行田市	算数	57.9	→	59.4	
埼玉県		56.7		63.8	埼玉県		61.6		59.8	
差		-2.3	0.7	-1.6	差		-3.7	3.3	-0.4	
		小6		中1			小6		中1	
行田市	国語	57	→	56.7	行田市	算数	60.1	→	56.4	
埼玉県		58.6		58.8	埼玉県		60.9		57.7	
差		-1.6	-0.5	-2.1	差		-0.8	-0.5	-1.3	
		中1		中2			中1		中2	
行田市	国語	59.4	→	55.7	行田市	数学	58.5	→	48.8	
埼玉県		61.3		57.1	埼玉県		59.4		52.7	
差		-1.9	0.5	-1.4	差		-0.9	-3	-3.9	
		中2		中3			中2		中3	
行田市	国語	61.8	→	54.2	行田市	数学	58.5	→	54.6	
埼玉県		63.1		56.3	埼玉県		59.1		57.1	
差		-1.3	-0.8	-2.1	差		-0.6	-1.9	-2.5	
		中2		中3			中2		中3	
行田市	英語	61.2	→	52.6	行田市	英語	61.2	→	52.6	
埼玉県		62.6		55.9	埼玉県		62.6		55.9	
差		-1.4	-1.9	-3.3	差		-1.4	-1.9	-3.3	
総合差			-0.2		総合差			-1.3		-3.4
R3 総合差		-9.1		R4 総合差		-3.4		総合差が5.7縮まった ⇒学力は伸びている。		

2 これまでの取組と成果について

(1) 学力向上支援教員（複数指導教員）の配置

ねらい

国語、算数・数学を中心に、学力に不安のある児童・生徒にきめ細かな指導の充実を図る。

配置

各学校の学力課題をもとに、重点的に支援が必要な教科・学校規模に合わせて配置。
各学校は、学力課題のある学年や教室に適切に配置し、授業、休み時間、放課後の補習などで活用。

サポート

学力向上支援教員の配置状況や指導の様子を定期的に教育委員会が視察し、より効果が上がるように指導助言。

確かな学力の定着



個別指導



少人数指導



話し合いの助言



子ども

- ・やり方を教えてもらって、勉強がおもしろくなった。
- ・教え方が丁寧で分かりやすい。
- ・課題ができると、褒めてくれるので、うれしい。



教員

- ・子どもたちの学習に寄り添いながら、必要に応じてアドバイスしてもらえるのがありがたい。
- ・教科担当と連携がよく図れている。
- ・授業に前向きな生徒が増えた。



保護者

- ・レベル別で教えてもらえて、ありがたい。
- ・指導力に信頼感がある。
- ・子供から「算数が楽しくなった」と聞いて、親としてうれしい。

(2) 外国語指導助手 (ALT) の配置

ねらい

外国語教育の充実を図るため、小学校の外国語活動及び小・中学校の外国語授業に外国語指導助 (ALT) を配置。

【ALTの役割】

- 担当教員の指導のもと、担当教員が行う授業にかかる補助
- 授業中の発音、活動の説明
- 授業の打合せ、教材作成の補助等

効果

- ・ ALTの授業参加は「英語を使って話したい」という子どもたちの気持ちを育てている。
 - コミュニケーションへの関心・意欲が高まっている。

今後は…

- ・ ALTの効果的な配置
- ・ ICTやデジタル教科書等の効果的活用
- ・ オンライン活用等の効果検証



ALTによる
オンライン授業配信



ALTとの
毎授業の打合せ



BOE研修※による
授業アシスタント力向上



外国語指導専科教員
との授業

※ BOE研修とは、教育委員会が行う研修のことで、指導法や教材作成方法、サービスに関する研修など行う。

(3) 英語検定補助事業の推進

ねらい

英語力向上及び学力向上のため、市内在住の中学生の英語検定受験料を補助し、受験機会の拡大を図るとともに英語検取得率向上を図る。

主な取組み

【英語検定取得支援事業】

1 支援対象

助成対象となる英語検定・級実用英語技能検定 1 級～4 級

2 対象生徒

- ・市内中学校に在籍する生徒
- ・市内に住所を有し、市外の中学校に在籍している生徒

3 助成回数

英語検定を受検した中学生 1 人につき、当該年度 2 回

4 助成額

生徒 1 人につき 1 回あたり 2, 0 0 0 円。ただし、4 級については 1, 0 0 0 円。
(同一年度 2 回まで)

【英語検定 2 次対策講座の実施】

中学校、市内公共施設を会場として、受験しやすい環境を整備した結果、受験者数の拡大や英語好きな生徒が増加し、結果として英語の学力が向上した

効果

・ 中学 3 年生英語検定取得率 令和 2 年度 2 0 . 4 % ➤ 令和 3 年度 2 7 . 2 %



2 次面接対策
想定質問の解答づくり & 指導



A L T による
オンライン面接 & 指導



対面での
面接練習 & 指導

(4) ICTの活用による学びの支援

課題理解への支援



指導者用デジタル教科書を
活用した課題の提示

授業での活用



デジタルドリルを活用した
個別学習



カメラ機能を活用した
技能の習得

オンラインによる授業



オンラインによる職場見学
(外部指導者の活用)



カメラ機能を使った演示



インターネットを用いた
調査活動



プレゼンテーションソフト
を活用した発表活動



オンライン授業による
学習補償

(5) 図書活動推進教員の配置

ねらい

学校図書館の機能の充実及び活性化を推進することにより児童生徒の読書習慣の定着及び読解力の向上を図るため、図書活動推進教員を配置する

配置状況

- 配置校…… 16校
- 推進教員… 8名
- 配置方法… 2名1組のペアをつくり1ペア4校を担当する

活動内容

- 貸出業務の補助
- 図書室内、掲示板の掲示物作成→おすすめ本コーナーの設置、読書感想文の書き方の掲示
- 授業時間や昼休み等を活用した図書活動の設定→低学年への読み聞かせ、中学年以上へのブックトーク
- 図書の管理について→新刊本購入の際のアドバイス(指定の学年にオススメの本等)

成果

- 児童生徒の図書室の利用、図書の貸出率が増えている。
- 読書する児童生徒の割合が増えた。



貸出の支援



読書標語



おすすめの本



人気本ベスト3

(6) 「うきしろスタンダード」の活用による確かな指導の確立

行田の子を **うきしろ** 伸ばす

うきしろスタンダード

行田市学力向上推進委員会

うれしさアップ・やる気アップにつながる励まし言葉

小さなことでもほめる
気付いたらすぐにほめる

結果ではなく過程を(努力を)ほめる
具体的にほめる

明るく笑顔で、名前を添えて

新し言葉		書き言葉	
学習 (授業)	生活 (通学・帰宅)	学習 (ノート指導等)	生活 (日記・読書・生徒会/ノート等)
一生懸命 やってるね	ありがとう 助かったよ	〇〇さんのノートは みんなの手本です	~している事は すばらしい
いいところに 気付いたね	がんばっているのを知っているよ	この学習が あなたの力に なっています	〇〇さんの がんばりに拍手
この考え すごくいいね	すごいね! たいしたもんだ	がんばって 続けていますね	さすが 〇〇さんです
〇〇さんなら できるよ	みんなに紹介 するね	よくまとめて います! good!	頑張っているよ

全てのことは信頼関係から。そして、あなたの言葉であなただけ。

○学習意欲が高まる、声かけ

学力向上の合い言葉「まなびのめ」

- まなびのめ
- まなびのめ
- まなびのめ
- まなびのめ

きちんと整理され、課題とまとめが明確な板書

1. 流れがわかる
2. 見やすい
3. 子供の考えを深める
4. 準備が整った

本時の課題「きちんと整理され、課題とまとめが明確な板書を書こう」

- そもそも板書とは「情報共有の場」である!
- 「本時のめあて」と「まとめ」がリンクしている
- 事前に板書計画を立てておく → 学習の可視化
- 子供の意見や思考のプロセスを生かす
- 記号、矢印、アンダーライン等視覚に訴える

〇チョークの色による約束 記号の約束を決める
例 赤：重要 黄：重要 注：注意
〇出来書きや図式化で見やすくわかりやすく

2. 見やすい チェックポイント

- 板書の字の大きさと丁寧さ・配色
- 子供の意見が生かされている
- 教室の隅の子にも見やすい
- ノートをとる時間は確保
- 写真や記録をとって工夫・改善

板書計画書を作成

いろいろな子供の考え方

ノートとリンク

補助黒板等の活用

○見やすい板書

しっかり振り返り、やる気いっぱいの家庭学習

家庭学習の定着を目指して

学習者の定着を促す

①授業の復習・予習
②反復練習(繰り返し練習)
③研究(調べる、まとめる)

めあてを書く
やるべきことを書く

メニューを決める
日付、学習場所を書く
開始、終了時刻を書く

何を学ぶのか
何をできるようにするのか
何に気を付けて学ぶのか

めあてを守れたか
分かったこと
次にやりたいこと
思ったこと(感想)

学習時間の目安

- 小学生: 前週自主学習 (学年+1) × 10分間
- 中学生: 予習・復習 (学年+1) 時間

ノートの使い方

- 下書きを書く
- すまじなく書く
- いはいは消す
- 直は定着を促す

家庭学習で身に付ける力

「継続は力なり」

- 毎日続ける!
- 毎日続ける力
- 決断した時間に時間をゆくりゆくり
- 自分で少しずつ工夫する力

①授業の復習・予習

- 復習は、小学1年生から続けて行う。(教科書を読み、もう一度やってみる、ノートを見直し、大切なことを書く等)
- ★学校で「分かったこと」が、反復練習によって「できる」という自信に変わる。
- ★中学生は、中学時代の学習を整理して、予習を行う。(新単元の習熟、習熟度等)
- ★中学生は、授業の進度が早くなるため、予習をする習慣を身に付ける。授業が理解しやすくなり、集中して学習できる。
- ★学習したことの習熟、定着を図る。
- ★言葉、図、表、絵等で工夫してまとめる。
- ★教科書を読み、新出単語、漢字に取り組み、

②反復練習(繰り返し練習)

- ★算数や計算は、繰り返し練習することで定着を図る。
- ★学校で「分かったこと」が、反復練習によって「できる」という自信に変わる。
- ★大層いい問題に挑戦する。
- ★深層で学習したことを、さらに調べる。
- ★自分の好きなこと、知りたいこと、究めたいことをいろいろな方法で調べる。
- ★言葉、図、表、絵等で工夫してまとめる。
- ★自分の考え(意見や提案)を書く。

③研究(調べる、まとめる)

大層いい問題に挑戦する。

- ★深層で学習したことを、さらに調べる。
- ★自分の好きなこと、知りたいこと、究めたいことをいろいろな方法で調べる。
- ★言葉、図、表、絵等で工夫してまとめる。
- ★自分の考え(意見や提案)を書く。

<授業>と<家庭学習>の相乗効果で一歩一歩の力を高める!

<家庭学習>

- ★ノートの確認は、その日のうちに。
- ★励まし言葉を添える。
- ★学習場所や時間、時間も見る。
- ★大層いい問題に挑戦し、時間を調べる。
- ★よい点を認め、クラスに広げる。
- ノートづくりのヒントへ

家庭学習も教師の関わりと支援が必要

<授業>

- ★授業確認、板書、発問等の工夫
- ★理解や定着を確認する際の工夫

○家庭学習の定着

論理的でわかりやすく、生き生きと学び合える教師の発問

全教科に共通した「発問のポイント」

- 発問の意図を明確にしておく。
- 発問に対する順番を予測しておく。
- 発問の内容が1目で字面に伝わるよう、短く簡潔にする。
- 発問段階に合った適切な言葉遣いで、手本となる話し方を示す。
- 「話す速さ、言葉の調子と抑揚、問の取り方、豊かな表情」を意識する。

なぜ～なのでしょう?

「問い」や「問い・問い」を引き出し、学習課題を明確にする。

- なぜ～なのでしょう。
- なぜそう思ったの。
- 本当にできるのかな。
- ～は、全てにあってはまるのかな。

「主体的な学び」の原動力!

「発問の流れや、発問の仕方」を働かせるきっかけ!

「主体的・対話的で深い学び」を促す!

「思考の広がりや深まり」につなげる!

ねらいと対峙して自分の言葉で振り返らせ、新たな学びへの意欲付けを図る。

- 出た意見の中でどれが一番納得できましたか。
- まとめること、どういうことですか。
- 今日の学習で分かったことは何ですか。
- 日常生活に使えると思ったことはありますか。
- もっと調べてみたいことはありますか。

「振り返り」が学びを深め、「次の学びへ向かう力」を育成!

○授業の流れや、発問の仕方

1.ねらい

授業の基本を示すことで、若い教員からベテランの教員までが同じ指導実践をすることができ、子供たちに同じ学びが保証される。よりポイントを押さえた、授業力の向上を図ることができる。

2.成果

教員の日々の授業実践のHow toとしてだけでなく、自身の7授業実践のフィードバックとしての活用、校内研修においては授業を見る視点として利用することで、より明確な協議や今後の改善ポイントとして校内の意思統一を図る指針となった。

(7) 授業力向上研修の充実

ねらい

指導主事の指導により、経験の浅い教職員の授業力を高め、子どもたちへの指導力を向上させる。

対象者

- 本採用2・3年次の教員
- 教職経験通算3年未満の臨時的任用教員
- 本年度、他市から行田市に異動した4年次から8年次の教員

55人に2時間ずつ、合計110時間の研修

感想報告から

- A 授業の準備や教材研究の大切さだけでなく、日々の指導の積み重ねの大切さを学びました。
- B 悩んでいた体育の授業が少しずつわかってきた。もっと児童が汗をかき、楽しく運動できる授業が行えるように、努力していきたい。

成果

「課題」と「まとめ」を明確にし、授業の流れがしっかりと板書された授業が多く実践されていた。対話的な活動については、コロナ禍であり苦勞されていたが、対話する人数や距離を工夫したり、ICTやワークシートを活用したりしながら、熱心に取り組まれていた。



研究授業の様子



(8) 「家庭学習のすすめ」の活用

「家庭学習のすすめ」ダイジェスト版
家庭学習にチャレンジしよう (小学生用) 行田市学力向上推進委員会

○取り組む内容(学習メニュー)を決めて、ノートに学習のめあてを書きましよう。
○学習が終わったら、学習をふりかえった感想を書きましよう。

①授業の復習・予習
②反復学習(くりかえし練習)
③研究(調べる、まとめる)

家庭学習ノート例

★復習は、小学1年生から続けてみましょう。

①授業の復習・予習
②反復学習(くりかえし練習)
③研究(調べる、まとめる)

自分だけのノートづくりのヒント

①いろいろなものをはってましよう。
②調べる、まとめる。
③自分の好きなこと、知りたいこと、おぼえたいことを書いてましよう。

④イラストや図表をかいてましよう。
⑤ノートに(めあて)と(ふりかえり)を書きましよう。

小学校版

②反復学習(くりかえし練習)

漢字・ひらがな・カタカナ・計算・ローマ字・都道府県名など、何度も練習しておぼえましよう。

※ノートは、しっかりとおぼえるまで書きましよう。

※1・2年生のノート例は、「家庭学習のすすめ」にあります。

③研究(調べる、まとめる)

自分の好きなこと、知りたいこと、おぼえたいことを書いてましよう。

自分だけのノートづくりのヒント

①いろいろなものをはってましよう。
②調べる、まとめる。
③自分の好きなこと、知りたいこと、おぼえたいことを書いてましよう。

④イラストや図表をかいてましよう。
⑤ノートに(めあて)と(ふりかえり)を書きましよう。

「家庭学習のすすめ」ダイジェスト版
家庭学習で実力をアップしよう (中学生用) 行田市学力向上推進委員会

○取り組む内容(学習メニュー)を決めて、ノートに学習のめあてを書きましよう。
○学習が終わったら、学習をふりかえった感想を書きましよう。

①授業の復習・問題演習・予習
②反復学習(くりかえし練習)
③発展、探究的な学習

家庭学習ノート例と重要ポイント

①授業の復習・問題演習・予習

②反復学習(くりかえし練習)

③発展、探究的な学習

自分だけのノートづくりのヒント

①いろいろなものをはってましよう。
②調べる、まとめる。
③自分の好きなこと、知りたいこと、おぼえたいことを書いてましよう。

④イラストや図表をかいてましよう。
⑤ノートに(めあて)と(ふりかえり)を書きましよう。

中学校版

②反復学習(くりかえし練習)

漢字・ひらがな・カタカナ・計算・ローマ字・都道府県名など、何度も練習しておぼえましよう。

※ノートは、しっかりとおぼえるまで書きましよう。

※1・2年生のノート例は、「家庭学習のすすめ」にあります。

③発展、探究的な学習

自分の好きなこと、知りたいこと、おぼえたいことを書いてましよう。

自分だけのノートづくりのヒント

①いろいろなものをはってましよう。
②調べる、まとめる。
③自分の好きなこと、知りたいこと、おぼえたいことを書いてましよう。

④イラストや図表をかいてましよう。
⑤ノートに(めあて)と(ふりかえり)を書きましよう。

1.ねらい

一人で学習する方法を明確にすることで、子供たちが進んで自主的に学ぶ態度を育成する。さらに、保護者にも示すことで、学校と家庭の連携がスムーズにいく。

2.成果

『家庭学習のすすめ』があることで、自ら進んで家庭学習に取り組むことができるようになった。保護者も家庭学習の重要性を改めて確認できるようになった。

3 県学調の分析結果から見える学力の課題①

(1) 教科の正答率より

✓国語

- 「読解力」（読み取る力）に課題がある（小・中）
- 思考力・判断力・表現力項目に課題がある。いわゆる、登場人物の思いや考えを問う問題。

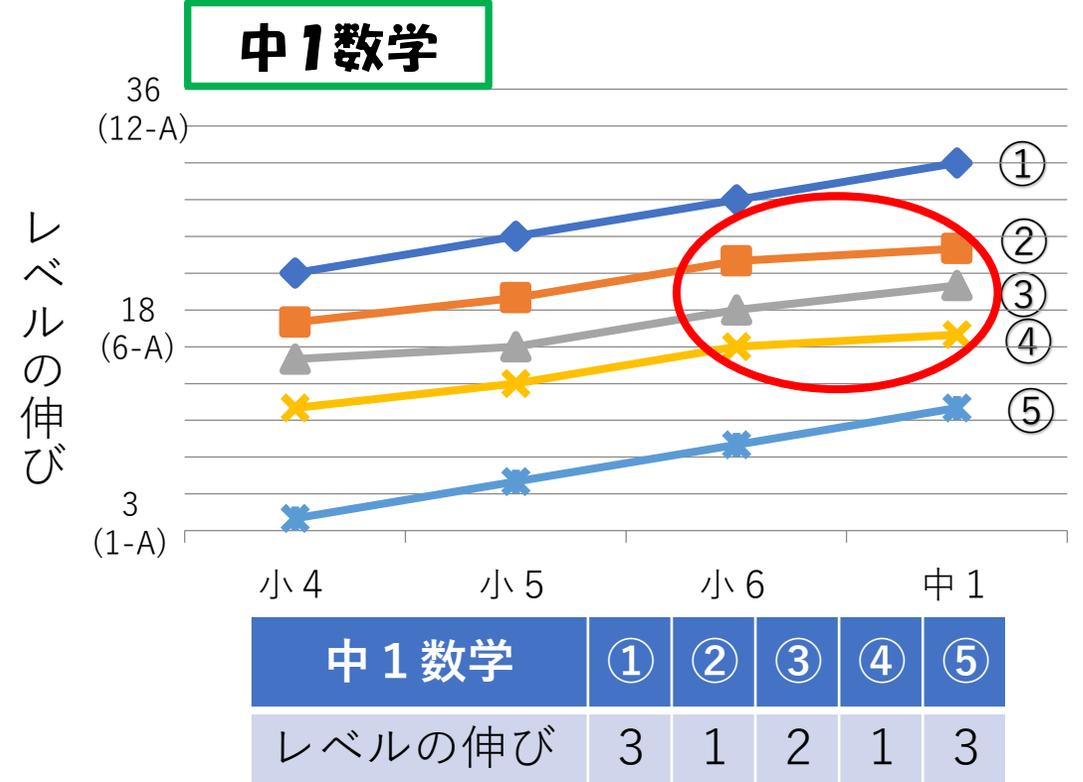
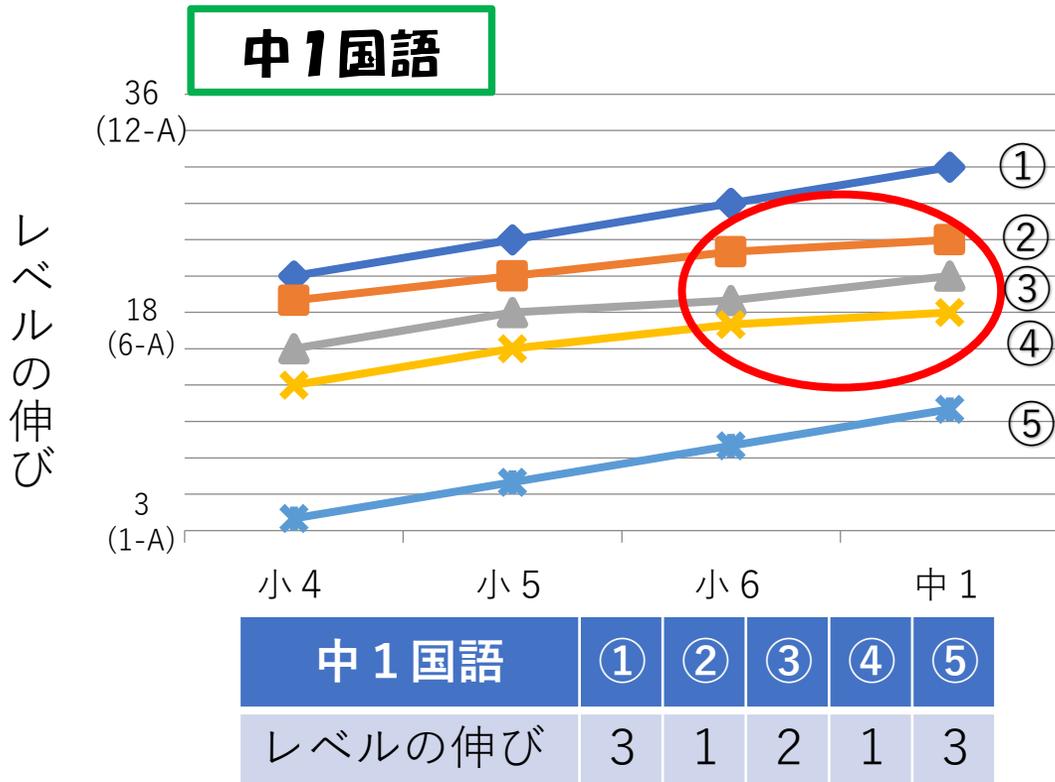
✓算数・数学

- 小学校は「図形」「変化と関係」（関数）、中学校は「数と式」の領域に課題がある。
- 知識・技能項目に課題がある。いわゆる、各領域の基礎・基本の問題。（計算の仕方等）

3 県学調の分析結果から見える学力の課題②

(2) 学力の伸びについて

→上位層（全体の上位25%以上のグループ）、
 下位層（全体の上位75%よりも下のグループ）よりも
中位層（25%～75%）は学力の伸びが小さい



①最上位に位置する子たち ②上位から25%に位置する子たち(25%～50%以上) ③中央に位置する子たち(50～75%以上) ④上位から75%に位置する子たち
 ⑤最下位に位置する子たち ①が上位層、②～③が中位層、④～⑤が下位層を示す

3 県学調の分析結果から見える学力の課題③

(3) 児童生徒質問紙調査※より

- 普段（月～金曜）、1日当たり携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。

→ 【小学校】 3時間以上 行田 **20.7%** 全国 19.7%

【中学校】 3時間以上 行田 **30%** 全国 29.5%

*** 長時間利用者が全国平均値よりやや多い。**

4 今後取り組むべきこと① (令和4年度行田市教育委員会 学力向上プラン)

元気な行田・未来の行田を担う子供の育成

『確かな学力』の育成

★日々の授業

★家庭学習

- 学力調査からの課題
 - ・知識・技能項目で県平均の正答率を下回っている。
 - ・学力レベルの中位層の伸びが他の上位、下位よりも低い。(県学調)

- 学力調査からの課題
 - ・土日の家庭学習は全国平均よりもやや上だが、正答率につながらない。
→やり方に課題がある。
 - ・スマホ等の一日当たりの利用率が全国平均よりもやや上回っている。

- 学力調査からの課題
 - ・国語では「読解力」に課題がある。
 - ・中2、3年生ともに毎年度英語の正答率は県平均を下回っている。

授業改善からのアプローチ

学びの環境整備からのアプローチ

学習習慣の定着
生活習慣の改善からのアプローチ

授業力向上

学びの支援

家庭との連携

学力向上の合い言葉「まなびのめ」

- | | | | |
|---|---------------|---|--------------|
| ま | まえ向きに あきらめず | の | のびるコツは 予習・復習 |
| な | なぜだろうと じっくり考え | め | めざそう 真の学力アップ |
| ひ | ひろげよう 学んだことを | | |

(1) 授業力向上

- 「うきしろスタンダード」による授業改善
- 授業力向上研修の充実
- 道徳教育の充実→非認知能力の育成
- 教育指導委員の活用→校内研修の充実

(2) 学びの支援

- 学力向上支援教員の有効活用
- 図書活動推進教員の積極的活用
- 外国語指導助手（ALT）の活用
- 英語検定補助事業の実施
- タブレット端末活用の推進（家庭でも）

(3) 家庭との連携

- 「家庭学習のすすめ」の活用
→ 学習習慣の確立、定着
- 望ましい生活習慣の育成
- 読書習慣の確立